



平成 25 年 12 月 24 日

各 位

会社名 株 式 会 社 メ デ ィ ネ ッ ト
代表者名 代表取締役社長 鈴木 邦彦
(コード番号:2370 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理本部長 原 大 輔
(TEL 045-478-0041)

「樹状細胞の活性化処理方法」に関する特許が米国で成立

株式会社メディネットは、樹状細胞(DC:Dendritic Cell)を用いて CTL(細胞傷害性T細胞)ⁱの誘導を高める処理方法に関して、既に欧州 11 カ国、オーストラリア、日本で特許が成立しておりますがⁱⁱ、この度、米国においても特許が成立いたしましたので、お知らせします。

メディネットは米国において、ビスホスホネート製剤で処理した樹状細胞(特許登録番号:8513010)に関して特許が成立しておりⁱⁱⁱ、今回は 2 件目の特許成立となります。

樹状細胞ワクチン療法は、樹状細胞が効率よく CTL を誘導する機能を利用して、抗腫瘍効果を期待する治療です。しかし、様々な身体状況にある患者自身の細胞を用いるため、培養する樹状細胞を十分に機能強化し、活性化させることが非常に難しいとされています。

この課題を克服するためにメディネットは、「樹状細胞の活性化処理方法」(今回米国で特許成立した技術)と「ビスホスホネート製剤で処理した樹状細胞」(特許登録番号:8513010)を開発し、これらの技術を用いることで、従来の方法に比べ、CTLの誘導を最大で100倍に向上させることが可能となりました。また、これらの技術は当社がサービス・技術を提供する医療機関で活用されています。

樹状細胞ワクチンに係る当社プラットフォーム技術を米国において権利化できたことは、今後、米国企業等と共同して細胞医療製品の製造販売を図る際に、大きく寄与するものと考えています。

【特許情報】

登録番号: 8,609,410
発明の名称: Method for activation treatment of antigen-presenting cell
権利者: 株式会社メディネット
対象国: 米国

【今後の影響】

本件の業績(2014 年 9 月期)に与える影響は軽微であります。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

報道関係、株主・投資家の方からのお問い合わせ : 経営管理部 045-478-0041 (代)
一般の方(患者・ご家族など)からのお問い合わせ : T R 推進部 045-478-0084 (直通)
ライセンスに関するお問い合わせ : 経営管理部知財・法務担当 045-478-0041(代)

ⁱ CTL

CTL とは Cytotoxic T Lymphocyte(細胞傷害性 T リンパ球)の略。T リンパ球の一種で宿主にとって異物になる細胞(がん細胞・ウイルス感染細胞・移植細胞など)を認識して殺傷する。

ⁱⁱ 2012 年 8 月 17 日リリース <http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=1000631>

「抗腫瘍効果を高める「樹状細胞の活性化処理方法」に関する特許が欧州 11 カ国で成立」

2012 年 10 月 31 日リリース <http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=1012725>

「抗腫瘍効果を高める「樹状細胞の活性化処理方法」に関する特許が豪州で成立」

2013 年 7 月 22 日 <http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=1077131>

「抗腫瘍効果を高める「樹状細胞の活性化処理方法」に関する特許が日本で成立」

ⁱⁱⁱ 2013 年 8 月 20 日リリース <http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=1088167>

「当社独自の「樹状細胞」に関する特許が米国で成立